急斜面版シカ侵入防止柵における耐久性の評価などに関する研究

【背景と目的】

急峻な多摩地域の山林に植林した樹木の生育を阻害する野生動物の侵入を防止するために開発した急斜面版シカ侵入防止柵のメンテナンス方法を確立する。また、シカ柵内に侵入する小動物の防除方法を確立や、シカによる摂食や角こすりによる被害を受けた植栽木の木材としての評価を行い、森林獣害の低減化を目指す。

【研究概要】

（１）シカ柵の耐久性の把握及びメンテナンス方法などの確立

都内で導入されている急斜面版シカ侵入柵の破損などの被害を調査する。

（２）シカ柵内に侵入する小動物の防除方法の確立

シカ柵内に侵入する小動物を調査し、防除試験を行う。

（３）シカ被害木の木材としての評価

シカによる摂食や角こすりを受けた植栽木の被害経過を調査する。